

フルバンド ラジオの取扱説明書

モデル: TR110

FM/MW/SW/AIR/CB/VHF (UHF) /UBD/WX/HAM

広帯域ラジオ受信機



この度は、Retekeess の Digital Reconciliation フルバンド ラジオ (モデル: TR110) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。これは、ラジオや無線愛好家向けのエントリーレベルの製品です。クロスカントリー活動愛好家向けの補助製品です (VHF/UHF チャンネル受信)。飛行機によく乗る人向けのフライト情報を提供できます。

ご使用前にこの説明書をお読みいただき、今後の参考のために保管してください。

パッケージ内容:

TR110 ラジオ	1
インイヤーヘッドフォン	1
BL5C リチウム電池 1000mAh 3.7V	1
USB TYPE-C 充電ケーブル	1
取扱説明書	1
アームストラップ	1
収納袋	1

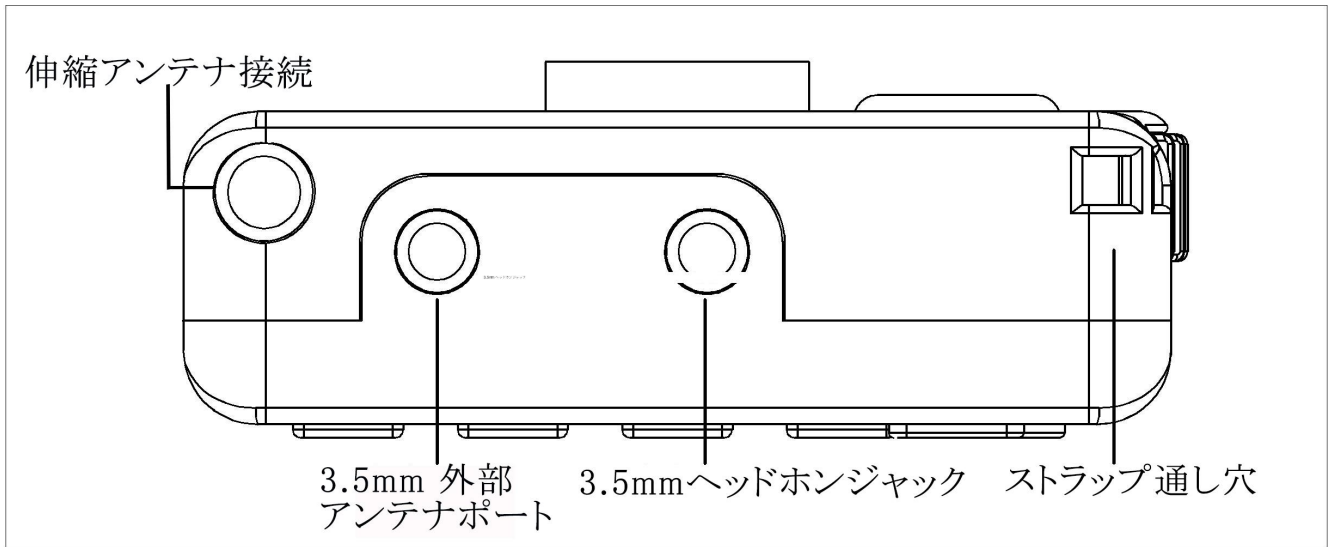
TR110 フルバンド 無線の概要:

これはデジタル調整されたフルバンド ラジオです。FM (周波数変調)/MW (中波)/SW (短波)/SSB (短波単側波帯復調モード)/SSB (上側波帯)/LSB (下側波帯) /AIR (航空帯域)/CB (都市帯域)/VHF (超短波帯域)/UHF (超短波帯域)/UBD (ユーザー定義帯域)/WX (北米国立気象バンド) を受信できます。

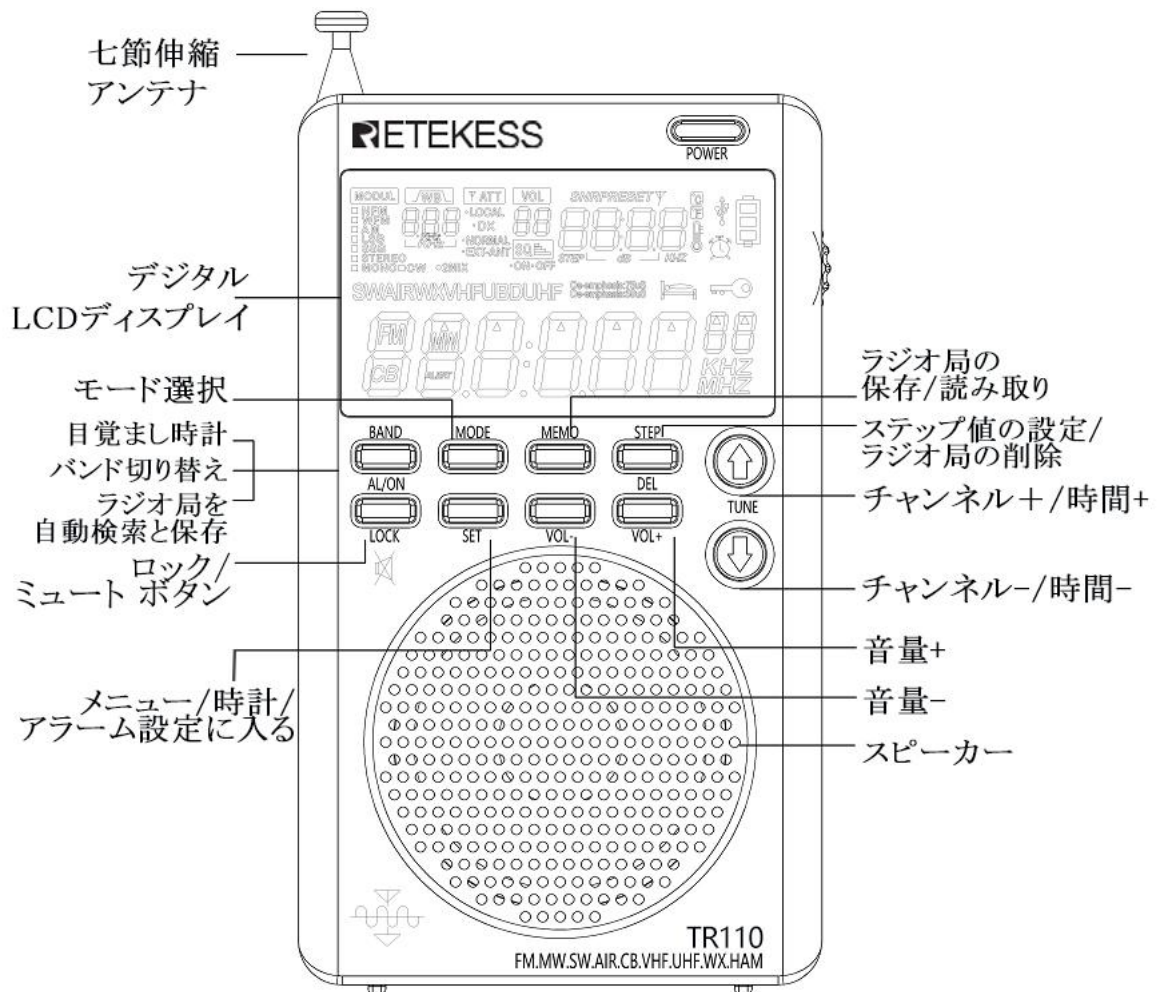
- 1.製品はコンパクトで持ち運びが簡単です。 小さなボディで大きなパワーを持ったラジオです。
2. 周波数全帯域に最新の DSP デジタル復調技術が採用されており、受信感度、選択性、アンチミラー干渉能力が大幅に向上します。
3. FM 受信範囲は 64MHz ~ 108MHz です。 FM 放送の受信やグローバル FM ラジオの受信に適しています。
4. 短波単側波帯の上側波帯 SSB と下側波帯 LSB は独立して受信され、スイッチングされます。
5. 複数の放送局選択方法: ラジオ局の自動検索と保存 (ATS)、ラジオ局の手動検索と事前に保存 (VM) 、ラジオ局の手動検索 (VF)。
6. ラジオ局のアドレス番号を表示し、ラジオ周波数を自動的に閲覧し、事前に保存されたラジオ周波数を自動的に閲覧できます。高速スキャン、シャトルチューニング、シャトルステップ設定 (10HZ をサポート) 、シャトルステップング桁調整可能なデザイン (周波数をすばやく選択するため) 。
7. SET メニューには次の詳細設定機能があります。
 - A. 調整可能なゲイン減衰コントローラ回路 ATT
 - B. 帯域幅調整可能な回路 BW
 - C. スケルチ 9 段階調整可能 SQ
 - D. FM モードのディエンファシス調整可能な DE
 - E. FM および AM バンドは複数の国向けに周波数を設定可能
8. 製品の各バンドのさまざまなステップ値が調整可能 STEP。
9. 摂氏/華氏温度を表示可能。
10. 自動スリープ時間、自動電源オン時間を設定できるだけでなく、ロックとミュート状態も設定できます。
11. 受信機はノイズ制限比と受信感度の参考値を表示できます。
12. 大きなメモリ容量があり、最大 1,000 のラジオ局を保存でき、メモリラジオ局の手動削除をサポートしています。
13. 外部アンテナ 3.5MM 入力をサポートします。
14. 外部スピーカーと 3.5MM ヘッドフォン出力をサポートしています。
15. 内蔵スピーカー、TYPE-C 充電穴が装備されています。
16. 取り外し可能な BL5C リチウム電池 1000mAh を使用しており、電池寿命が長くなります。
17. 本製品のバックライトは温かみのあるオレンジ色の光で、夜間・暗い場所でも使いやすくなっています。

製品ボタン部品の説明:

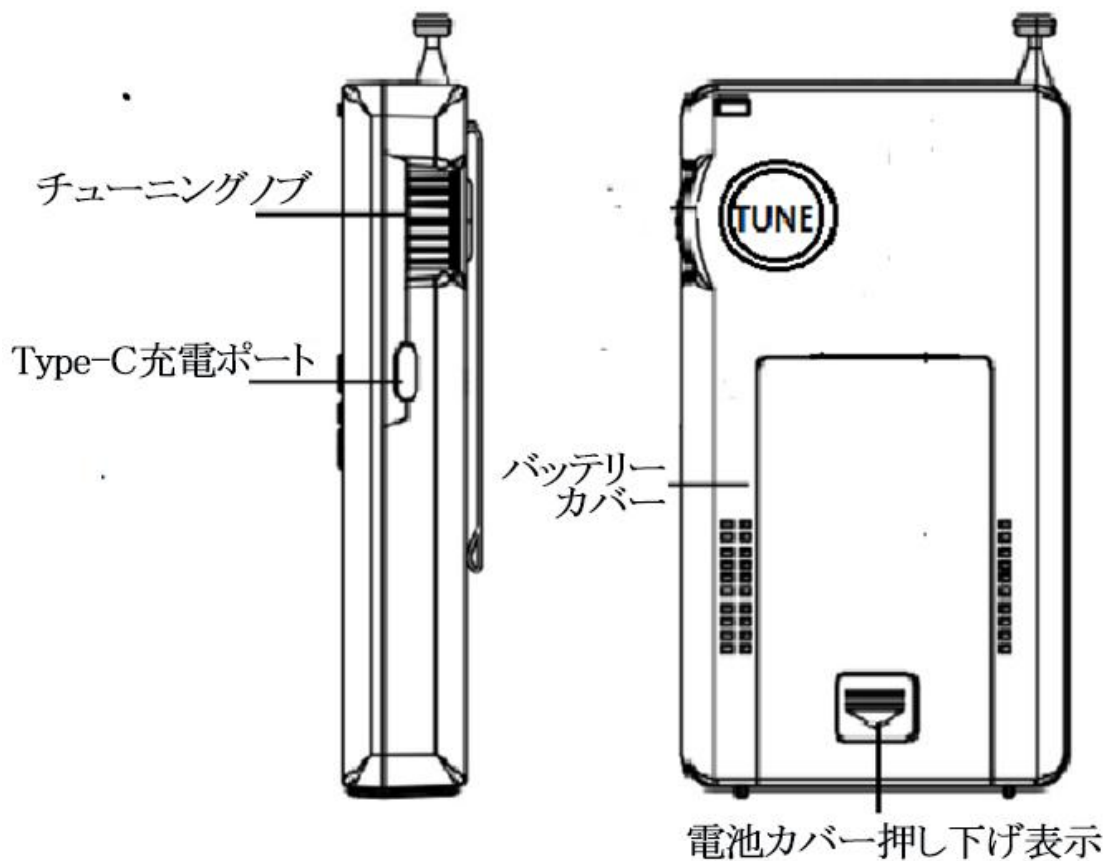
製品の上部:



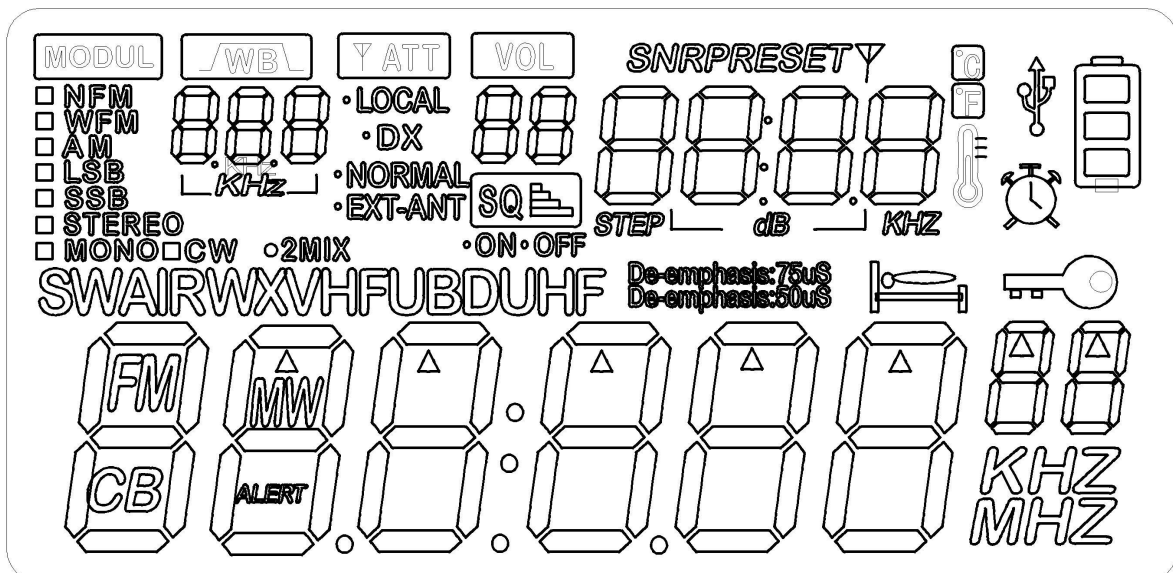
製品正面:



製品の右側面と背面:



ディスプレイに表示される記号の説明









MODUL: 変調モード切り替え表示

NFM: 狭帯域 FM モード

WFM: 広帯域 FM モード

AM: AM 標準

LSB: 単側波帯の下側波帯

SSB: 単側波帯の上側波帯
STEREO: FM モード時のステレオ受信状態
MONO: FM モードでのモノラル受信状態
2MIX: 二次周波数変換表示
WB: 各帯域の帯域幅の選択
ATT: 調整可能なゲイン減衰コントローラー 回線選択表示: LOCAL ローカル/DX
VOL: 音量調整表示 (レベル 00 ~ 40)
SQ ON: スケルチ受信状態
SQ OFF: 非スケルチ受信状態
SNR: 信号対雑音比
PRESET: プリストアラジオリ局
STEP: ステップ値設定表示
▲: チューニングステップマーク
DB: SNR と受信感度の単位表示
°C: 温度表示 (摂氏)
°F: 温度表示 (華氏)
 : 温度計
 : 充電インジケータのマーク
 : 電池残量表示マーク
 : 目覚まし時計設定表示記号
 : 睡眠時間とオフ時間の記号を設定する記号
 : ロック状態
FM: FM 受信モード
CB: シティバンド受信モード
MW: 中波受信モード
SW: 短波受信モード
AIR: 航空帯域受信モード
WX: 気象帯域受信モード
VHF: 非常に高周波モード
UHF: 超高周波周波数モード
UBD: カスタム入力周波数モード
ALERT: アラート表示記号
De-emphasis: 50uS/De-emphasis: 75Us: デイエンファシス表示
EXT-ANT: 外部アンテナ表示マーク

操作上の注意事項:

この無線機を使用する前に、製品を安全かつ信頼性高く使用できるように、次の基本的な安全上のヒントに必ず従う必要があります。

- ◆ すべての安全上の指示と使用上の情報を読んで理解してください。
- ◆ リジナルのリチウム電池の使用をお勧めします。
- ◆ リチウム電池や機器への損傷を避けるため、充電には出力電圧 DC5V/1A ~ 3A の充電機器を使用することをお勧めします。
- ◆ リチウム電池を長期間使用しない場合は、必ず取り出して保管し、月に一度は必ず充

電してください。

- ◆ 本製品を雨、湿気、液体の滴下や飛沫にさらさないでください。
- ◆ 本製品を高温の熱源に近づけたり、高温でグリルしたり焼いたりしないでください。
- ◆ 直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。
- ◆ 本製品を落としたり、ぶつけたり、強い圧力を加えたりしないでください。
- ◆ 注： テレビ、コンピュータ、発電機、電気モーター、その他の信号発生器などの電気機器も、ラジオの信号受信に一定の干渉を引き起こす可能性があります。ご使用の際は上記機器から一定の距離を保ってご使用ください。
- ◆ 本製品のアンテナは7分割ロッドアンテナ（露出部 56CM）となっており、比較的長いいため、破損の恐れがありますので折り曲げないようにご注意ください。

ボタン機能の操作説明：

1.バッテリーの取り付け：

電池カバーを押し開き、BL5C リチウム電池を電池のプラスとマイナスの極性に従って正しく挿入し、電池カバーを閉じます。

バッテリーを取り付けた後。ラジオのバックライトが点灯し、時刻ステータスが表示されます。

2. [POWER] 電源オンオフ/スリープタイマー設定操作：


2.1.電源オン/オフ機能：

時刻状態で、[POWER] をボタンを押すとラジオがオンになります。

電源がオンの状態で、[POWER] ボタンを長押しするとラジオがオフになります。

2.2.スリープタイマー設定：


スリープ タイマーを有効にするには、ラジオがオフのときに[POWER] ボタンを 2 秒長押しして「90」分を表示してスリープ機能を開始し、[POWER] ボタンを短く押して 90-80-70-60-50-40-30-20-10 分の睡眠に設定します。


スリープ時間が設定されると、LCD ディスプレイに  マークが表示されます。

注： 設定されたスリープ時間に達すると、ラジオは自動的にシャットダウンします。時計の状態を表示します。

2.3.SNR & RSSI 機能と時間切り替え表示を開始する：


無線動作状態で [POWER] キーを短く押すと、SNR & RSSI 機能と時刻切り替え表示が開始されます。


S/N 比と受信感度を示す参考値：

表示時間ステータス：

3. [LOCK] キー：ロック設定、ロック解除/サイレント動作：

3.1.ロックとロック解除の操作を設定する：


電源オンまたはオフの状態で、[LOCK]キーを 2 秒間長押しすると、画面に「」マークが表示され、すべてのキー機能の操作がロックされます。

再度[LOCK]キーを 2 秒間長押しすると、表示部の「」マークが消え、キーロック機能が解除されます。

3.2.サイレント動作を設定する:

ラジオの電源が入っているときに [LOCK] ボタンを短く押すと、ディスプレイの「VOL 00」が点滅し、ミュート状態になります。もう一度 [LOCK] ボタンを押すと、現在の音量に戻ります。この時点ではミュート機能は無効になっています。

4.外部 DC5V 入力電源動作:

バッテリー記号がスペースを示している場合は、TYPE-C 充電ケーブル (工場標準付属品 TYPE-C USB ケーブル) を使用して DC5V 電源を無線入力に接続してください。充電プロセス中、バッテリー表示記号「」は点滅し続けます。ラジオが完全に充電されると、バッテリー シンボルの点滅が止まり、フル充電と表示されます。

5. 3.5mm ヘッドフォンジャックの操作:

ラジオ番組放送を聞くには、ラジオ自体のスピーカーを使用できます。また、3.5mm ヘッドフォン プラグを使用してもできます。(他の人の邪魔をしないように、3.5mm ヘッドフォンを使用してください)。



6.ボリューム[VOL+、-]:

電源が入っている状態で「[VOL+]、[VOL-]」キーを軽く押すと、音量が 1 ステップずつ増加または減少します。



「[VOL+]、[VOL-]」キーを押し続けると、音量をすばやく上げたり下げたりできます。音量は 00 から 40 レベルまで設定できます。

7.[MEMO]: 手動ストア/リトリブキー操作:

7.1.手動ストレージの操作方法:

[TUN "、"] キーを使用して、目的の周波数ポイントに調整します。

[MEMO] ボタンを 2 秒間長押しすると、LCD に PRESET と「P×××」マークが同時に点滅します。(PRESET はプリセットステーションのプロンプト、「P×××」はストレージステーションのアドレスプロンプトです。)

[MEMO] ボタンを短く押すか、[TUN "、"] を同時に押して周波数アドレスを選択します。



[MEMO] ボタンを軽く押すと、LCD に「S×××」が約 2 秒間表示され、目的の周波数ポイントが目的のメモリ番号に保存されたことが示されます。

注: 各バンドには 100 個のメモリ ステーションを保存できます。

7.2.ステーションをピックアップする方法:

7.1 の方法でステーションを保存するか、BAND を長押ししてステーションを自動的に検索することができます。

[MEMO] ボタンを短く押すと、LCD に「PRESET」と「P×××」が表示されます。



[TUN "、"] を短く押して、希望する無線局の周波数アドレス番号を取得し、無線局の信号を取得します。



注: 3 秒以内に何も操作しない場合、局検索操作機能は終了します。

*ピックアップをキャンセルするには: [MEMO] ボタンを軽く押すと、ピックアップの「PRESET」と「P×××」が表示されます。もう一度 [MEMO] ボタンを軽く押すと、LCD に「PRESET」と「P×××」が消えます。ピックアップをキャンセルします。

8. [TUN "、"]: 時刻設定/選局ボタン:

8.1.時刻設定動作:


時刻表示状態で[SET]ボタンを 2 秒長押しし、時のデジタル表示が点滅した後、[TUNE "、"] ボタンを短く押して現在の時間を設定します。



[SET] ボタンを押すと、分のデジタル表示が点滅し、[TUNE "、"] ボタンを押して現在の分



を設定します。

注：ラジオの時間表示は 24 時間表示に設定されています。

8.2.目覚まし時計の設定（自動電源オンの設定）：



8.1 の操作方法に従って現在時刻を設定した後、[BAND]ボタンを押すと、表示画面に目覚まし時計マーク「」が表示され、もう一度[BAND]ボタンを押すと目覚まし時計表示マークが消え、アラーム時刻が解除されます。



[SET]ボタンを 2 秒間押し続けると、アラーム時間「**××**」デジタル表示が点滅し、[TUNE"、"]ボタンを軽く押してアラーム時間を設定します。

[SET]ボタンを軽く押すと、アラーム分のデジタル表示「**××**」が点滅します。[TUNE"、"]ボタンを押してアラーム分を設定します。

8.3.チャンネル選択操作：

電源オンの状態、ラジオ局が保存されている場合は【MOME】を短押しすると、LCD に「PRESET」と「**P×××**」が表示され、放送局を取得します。もう一度[MOME]ボタンを軽く押すと、LCD に「PRESET」と「**P×××**」が消えます。

[TUNE"、"]ボタンを押してラジオ局を増減します。

[TUNE"、"] ボタンを長押しすると、ラジオは自動的にラジオ検索機能に入ります。放送局が見つかりと検索が停止し、見つかった放送局の再生が始まります。

9.[BAND]キー：バンド切り替え/自動検索と保存/目覚まし時計のオン、オフ操作：

9.1.バンド切り替え：

ラジオ動作状態で[BAND]ボタンを軽く押すと、FM/MW(AM)/SW/AIR/CB/VHF(UHF)/UBD/WXバンドを切り替えることができます。

9.2.全自動検索・保存機能：

[BAND] ボタンを 2 秒間長押しすると、全自動スキャンおよびメモリー機能が開始され、現在の受信バンド内で最も低い周波数ポイントから最も高い周波数ポイントまで検索します。信号のある局をラジオメモリに自動的に保存し、ステーション番号を保存します。

自動局検索と保存が完了すると、最初の局が自動的に再生されます。

自動検索中は画面上に「PRESET」と「**P×××**」が点滅します。周波数が急激に変化しています。

注：自動検索中に任意のキーを押すと、自動検索が停止します。

自動検索と保存中に、以前に保存されたステーションが更新されます。

9.3.時計の状態、[BAND]キーを押して目覚まし時計のオン/オフを切り替えます（具体的な操作は上記「8.2 操作紹介」を参照してください）。

10.ステップ/削除 [STEP]キー操作：

10.1 動作状態で[STEP]キーを短く押してステップ値を設定します。

各バンドには次のステップ選択があります

①FM ステップ： 50.0KHZ、10.0KHZ、100.0KHZ。

②AM 周波数： 522-1710KHZ、ステップ： 9.0KHZ、3.0KHZ、



AM 周波数： 520-1710KHZ、ステップ： 10.0KHZ、5.0KHZ。

③SW ステップ： 5.0KHZ、1.00KHZ、0.10KHZ、0.02KHZ、0.01KHZ。

④AIR ステップ： 25.0KHZ、12.5KHZ、8.3KHZ

⑤CB ステップ： 5.00KHZ、1.00KHZ、0.10KHZ、0.02KHZ、0.01KHZ

⑥VHF/UHF&UBD ステップ： 25.0KHZ、12.5KHZ、7.5KHZ、5.0KHZ、1.0KHZ

ステップ値を選択すると、システムは最後に選択したステップ値をデフォルトに設定します。 [TUN " .  "] キーを押して、最後に選択したステップ値を確認します。

10.2.ラジオ局削除操作:

ラジオ動作状態で、上記 7.1 に従ってステーションを手動で保存するか、上記 9.2 に従ってステーションを自動的に検索して保存します。

[MEMO]ボタンを押すと画面に PRESET 「P×××」と表示され、[TUN「↑、↓」ボタンを押して削除したい放送局を選択し、[STEP] を 2 秒間長押しします。「DEL&E×××」点滅中に [STEP] キーを軽く押すと、現在のラジオ局が削除されます。5 秒以内に [STEP] キーを軽く押すと、次のラジオ局の削除を続けることができます。5 秒以内に操作がなければ、ラジオはステーションの削除設定を終了します。または、PRESET 「P×××」文字が表示中に[STEP]を押すと設定を終了します。

11.メニュー・時計設定 [SET]キー操作:

11.1.時刻設定動作:

オフの状態で、[SET]ボタンを 2 秒長押しし、[SET]ボタンを軽く押し、「↑、↓」ボタンを押して時計設定に入ります（詳しくは、上記 8.1 の操作に従ってください）。

11.2. 動作状態で、[SET] を押してメニュー設定に入ります（具体的な操作については 14 を参照してください）。

11.3. WX バンドで [SET] キーを長押しして、ALERT アラーム機能が開始され、「SCAN」が点滅します。「SCAN」の文字が点滅しているときに[SET]キーを長押しすると、ALERT 機能が終了します。

注: SCAN の表示は、WX がサイレント検出 NOAA ALERT 状態に入り、ALERT 信号が検出されたときにアラーム信号を送信することを意味します。

12.チューニングノブ:

動作状態: ノブを回して周波数表示ビット値を調整します。値を調整すると、対応する「△」が点滅します。[STEP]を押して希望の値を選択します。ノブを回して、希望の周波数を素早く選択します。

13. [モード]設定:

13.1. 動作状態で、[SET] を押して設定モードに入り、[MODE] ボタンを押して、対応するサブメニュー機能を選択します。

13.2. 短波 (SW) & 超短波 (VHF) & 航空帯域 (AIR) では、スタンバイモードで [MODE] キーを押すとメーターバンド切り替え機能になります。

13.2.1.短波(SW)受信状態で[MODE]キーを押すとメーターバンドが切り替わります。

周波数は次のようになります。

3.20000MHZ、3.75000MHZ、3.90000MHZ、4.75000MHZ、5.73000MHZ、
7.10000MHZ、9.25000MHZ、11.50000MHZ、13.57000MHZ、15.03000MHZ、
17.48000MHZ、18.90000MHZ、21.45000MHZ、25.67000MHZ。

13.2.2.超高周波 (VHF) を押してから [MODE] を押してメーターバンドを切り替えます。

周波数は次のとおりです。

VHF30.00MHZ、VHF136.00MHZ、VHF174.00MHZ、VHF220.00MHZ、
UHF409MHZ、UHF446.0620MHZ、UHF462.5620、UHF443.00

13.2.3.航空バンド (AIR) 受信状態で、[MODE] ボタンを押すとメーターバンドに切り替わります。周波数ポイントは次のとおりです。

118.00MHZ、123.00MHZ、128.00MHZ、133.00MHZ、138.00MHZ

13.3.事前保存局プレビュー操作:

「7.1 手動局操作」と「9.2 全自動局検索操作」設定後、

受信帯域 (WX 北米諸国の気象帯域を除く) に保存されているラジオ局がある場合、[MODE] ボタンを 2 秒間長押しして、プレビュー機能に入り、「L×××」が点滅します。

5 秒ごとにラジオ局に切り替えます。任意のキーを押してプレビュー機能を終了します。

ヒント: 希望のラジオ局を設定した後、MODE ボタンを長押しするとプレビュー モードに入り、現在の最も低い放送局から開始され、5 秒ごとに放送局が切り替わります。任意のキーを押してプレビュー モードを終了できます。

放送中、信号のないラジオ局は自動的にスキップされます。指定されたラジオ局をすばやく見つけて、プリセットされたラジオ局をすばやくキャプチャするという目的を実現する方が便利です。

13.4.オフの状態で[MODE]ボタンを押すと、華氏/摂氏の表示が切り替わります。

14.各バンドの設定:

14.1 MW (中波) 受信状態:

14.1.1. [SET] ボタンを押すと、帯域幅 (WB) の番号が点滅し、[MODE] ボタンを押して、帯域幅を 1.80KHZ、1.00KHZ、6.00KHZ、4.00KHZ、3.00KHZ、2.50KHZ、2.00KHZ に設定します。

14.1.2. [SET] ボタンを 2 回押すと、MW 周波数ポイント 522mhz または 520mhz の周波数ポイント番号が点滅し、[MODE] ボタンを押して 522mhz または 520mhz を選択し、[SET] ボタンを押して現在の設定を確認します。5 秒以内に操作がなかった場合は、現在の設定がデフォルトになります。

表示ショー 520 は、中波ステップ値が 10kHz (または 5kHz) であり、受信範囲が 520 kHz ~ 1710 kHz であることを示します。

表示ショー 522 は、FM の中波ステップ値が 9kHz (または 3kHz) であり、受信範囲が 522 kHz から 1710 kHz の間であることを示す。

注: 米国、カナダ、メキシコ、およびその他の南北アメリカ諸国では、MW ステップ値は 10 kHz (または 5 kHz) に設定されています。他の国では、MW ステップ値は 9 kHz (3 kHz) です。

14.1.3. [SET] を 3 回押すと (ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL) が点滅し、MODE キーを短押しして (DX) または (LOCAL) を選択します。

次に[SET]を押すと、(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL) の点滅が止まります。

5 秒以内に操作がない場合は、(DX) または (LOCAL) を終了して操作を切り替え、現在の設定をデフォルトに戻すことができます。

14.2 FM (周波数変調) 受信状態:

14.2.1.[SET] ボタンを押すと、帯域幅 (BW) が点滅し、[MODE] ボタンを押して帯域幅を 40KHz、110KHz、84KHz、および 60KHz に設定します。

14.2.2.[SET] ボタンを 2 回押すと、FM 周波数 64.00MHz、76.00MHz、または 87.5MHz が点滅し、[MODE]キーを押して 64.00MHZ、76.00MHZ、87.50MHZ を選択します。次に、SET を短く押して、現在の設定を確認します。5 秒以内に操作がなかった場合は、現在の設定がデフォルトになります。

64.00MHZ と表示されている場合、FM 受信範囲は 64.00 ~ 108.00MHZ となります。

この時は 64.00 ~ 108.00MHz。

76.00MHZ と表示されている場合、FM 受信範囲は 76.00 ~ 108.00MHZ となります。

この時は 76.00 ~ 108.00MHz。

87.50MHZ と表示されている場合、FM 受信範囲は 87.50 ~ 108.00MHZ となります。

この時は 87.50 ~ 108.00MHz。

14.2.3.[SET]を3回押すと(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL)が点滅し、MODE キーを短押しして (DX) または (LOCAL) を選択します。

次に[SET]を押すと、(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL) の点滅が止まります。

5 秒以内に操作がない場合は、(DX) または (LOCAL) を終了して操作を切り替え、現在の設定をデフォルトに戻すことができます。

14.2.4. [SET] ボタンを4回押すと、「De-emphasis: 50us または Demphasis: 75us」が点滅します。[MODE] ボタンを押して「De-emphasis: 50us または Demphasis: 75us」を選択します。もう一度 [SET]を押して現在の動作を確認します。De-emphasis: 50us または Demphasis: 75us 単語の点滅が停止します。5 秒以内に操作がなかった場合は、現在の設定がデフォルトになります。

14.2.5.[SET]ボタンを5回押すと、「・STEREO」または「・MONO」が点滅します。次に、[MODE] ボタンをを短く押し、「・STEREO」または「・MONO」設定を選択します。[SET] キーを押して、現在の動作を確認します。5 秒以内に操作がなかった場合は、現在の設定がデフォルトになります。

14.3.SW (短波) 受信状態:

14.3.1.[SET] を押すと、帯域幅の「BW」が点滅し、[MODE] を短く押し帯域幅を 3.00KHZ、2.50KHZ、2.00KHZ、1.80KHZ、1.00KHZ、6.00KHZ、4.00KHZ に設定します。

14.3.2.[SET]を2回押すと「SQ.OFF.00.ON」が点滅します。「MODE」を押して、(SQ.ON.01~SQ.ON.09)SQ レベルを選択します。9 つのレベルがあります。次に SET を短く押し、必要な SQ レベルを確認します。画面上で「VOL SQ」が点滅します。5 秒以内に操作がなければ、現在の設定をデフォルトにします。

SQ 機能が不要な場合は、上記操作を押して VOL SQ OFF に切り替え、オートノイズ機能を OFF にしてください。

14.3.3.[SET]を3回押すと(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL)が点滅し、MODE キーを短押しして (DX) または (LOCAL) を選択します。

次に[SET]を押すと、(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL) の点滅が止まります。

5 秒以内に操作がない場合は、(DX) または (LOCAL) を終了して操作を切り替え、現在の設定をデフォルトに戻すことができます。

14.3.4.[SET] ボタンを4回押すと、「・AM」が点滅します。このとき、SW は通常の短波受信モードで動作します。[MODE] ボタンを短く押すと、「・SSB」が点滅し、単側波帯の上側探索モードに入ります。5 秒後に「SSB」の単側波帯サーチを停止します。

「・SSB」が点滅しているときに[MODE]キーを軽く押すと、下側波帯の「・LSB」が表示されます。点滅または点滅しない、または「・SSB」が点滅しているときに[BAND]を短く押すと、SW Band に切り替えることができます。SW 状態でラジオをオフにしてからラジオをオンにすると、LSB または SSB が自動的に検索モードに入ります。

SSB および LSB サーチモードを終了したい場合は、[SET] を4回短く押し、[MODE] を軽く押し、「・AM」フラッシュに切り替わります。そして、[SET]を軽く押し、LSB と SSB の検索モードが終了します。

短波単側波帯通信信号 (SSB) の受信は次のとおり:

短波単側波帯通信 (KHZ) に一般的に使用される周波数をいくつか添付します。

記載されていない周波数は USB です。

広州海岸駅: 8716 8782 13107 13149 13182 17398 19772 19793 22735

天津海岸駅: 13092

上海海岸駅: 8773

煙台海岸駅: 4381 8764 13077 17332

湛江海岸駅: 2182 6200 6501

舟山海翔海運会社: 12408

廈門海岸駅: 4314 8453 12876

米軍ハワイラジオ グラム: 10320 13362 (昼) 5765 6350 (夜)

マニラ空港、フィリピン: 8942

アイスランドラジオ: 13855

東アジア太平洋航空 気象観測所: 8828

農業省南海区漁港監督管理局: 12215

広東省湛江海洋水産局: 4925

広西チワン族自治区北海水産局: 6230

海南省三亜海洋水産局: 8210

広東省連江市海洋漁業局: 4378

広西チワン族自治区防城港水産養殖畜産局: 6300

海南省儋州市海洋水産局: 13250

海南臨澳県海洋水産局: 7735

国際海上通信帯域: 8195-8815 12330-13200

アマチュア無線局で一般的に使用される周波数:

日本気象局: 9970 13597

日本の新聞: 12745

台湾の天気: 13900

東南アジアの言語、英語の海岸局の強力な信号周波数帯域: 16590-16860

80 メートル: 3500-3900

40 メートル: 7000-7100 (LSB)

20 メートル: 14000-14350

15 メートル: 21000-21450

10 メートル: 28000-29700

フィリピン: 6765

アマチュア無線: 14180

アマチュア無線: 14270

LSB 日本アマチュア無線: 3569

電信局: 12967

航空: 13281 13284

上記の周波数は参考用です。

14.4: AIR (航空帯域受信) ステータス:

14.4.1. [SET] ボタンをタップし、帯域幅 (WB) 番号が点滅しているときに [MODE] ボタンをタップして、帯域幅を 3.00KHZ、2.50KHZ、2.00KHZ、1.80KHZ、1.00KHZ、6.00KHZ、4.00KHZ に設定します。

14.4.2. [SET]を 2 回押すと、「SQ.OFF.00.ON」が点滅し、次に、[MODE]キーを押すと SQ (SQ.ON.01 ~ SQ.ON.09) を選択します。[SET]を短く押すと、「VOL SQ」の点滅が止まります。

5 秒以内に何も操作しないと現在の設定が自動的に確認されます。(MODE) を短く押して (SQ.OFF.00) を選択すると、SQ が閉じます。

14.4.3.[SET]を 3 回押すと(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL)が点滅し、MODE キーを短押しして (DX) または (LOCAL) を選択します。

次に[SET]を押すと、(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL) の点滅が止まります。

5 秒以内に操作がない場合は、(DX) または (LOCAL) を終了して操作を切り替え、現在の設定をデフォルトに戻すことができます。

14.5 .CB (シテイバンド受信) 状態:

14.5.1.[SET]を押します。帯域幅 (BW) 番号が点滅したら、[MODE] を短く押して、帯域幅を 3.00KHZ、2.50KHZ、2.00KHZ、1.80KHZ、1.00KHZ、6.00KHZ、および 4.00KHZ に設定します。

14.5.2.[SET] キーを 2 回押すと、SQ (SQ.OFF.00) が点滅します。次に [MODE] を短く押して、SQ (SQ.ON.01 ~ SQ.ON.09) を選択します。SQ OFF が必要ない場合は、もう一度[SET]を短く押ししてください。

SQ (SQ.ON.01 ~ SQ.ON.09) が点滅しているときに、MODE を短押しして (SQ.OFF.00) を選択すると、SQ が消灯します。

14.5.3.[SET]を 3 回押すと(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL)が点滅し、MODE キーを短押しして (DX) または (LOCAL) を選択します。

次に[SET]を押すと、(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL) の点滅が止まります。

5 秒以内に操作がない場合は、(DX) または (LOCAL) を終了して操作を切り替え、現在の設定をデフォルトに戻すことができます。

14.6.VHF(UHF)状態:

14.6.1. [SET] ボタンを押すと、帯域幅 (WB) 番号が点滅し、[MODE] ボタンを押して、帯域幅を 1.70KHZ、4.50KHZ、3.75KHZ、2.50KHZ に設定します。

14.6.2. [SET] ボタンを 2 回押すと、SQ 設定(SQ.OFF/ON.00)が点滅します。次に[MODE]を短押しして SQ(SQ.ON.01 ~ SQ.ON.09)を選択します。SQ OFF が必要ない場合は、2 回目に[SET]を短押しして SQ(SQ.ON.01 ~ SQ.ON.09)が点滅したら、[MODE]を(SQ.OFF.00 を表示されてまで)短押ししてください。この時点で、SQ OFF は閉じられます (注: SQ OFF は 9 レベルに調整可能に設定されており、実際の需要に応じてレベルを選択できます)。

14.6.3.[SET]を 3 回押すと(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL)が点滅し、MODE キーを短押しして (DX) または (LOCAL) を選択します。

次に[SET]を押すと、(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL) の点滅が止まります。

5 秒以内に操作がない場合は、(DX) または (LOCAL) を終了して操作を切り替え、現在の設定をデフォルトに戻すことができます。

14.7. UBD (カスタム受信) 状態:

14.7.1.[SET] ボタンを押して、帯域幅 (WB) の数字が点滅しているときに [MODE] ボタンを押して、帯域幅を 1.70KHZ、4.50KHZ、3.75KHZ、2.50KHZ に設定します。

14.7.2. 【SET】 を 2 回押すと SQ(SQ.OFF/ON.00)が点滅します。次に、[MODE] を短く押して、SQ レベル (SQ.ON.01 ~ SQ.ON.09) を選択します。[SET]を押すと、「VOL SQ」の点滅が止まり、現在の設定を確認します。

SQ 機能が不要な場合は、上記操作を押して VOL SQ OFF に切り替え、オートノイズ機能を

OFF にします。

14.7.3.[SET]を 3 回押すと(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL)が点滅し、MODE キーを短押しして (DX) または (LOCAL) を選択します。

次に[SET]を押すと、(ATT) 遠距離 (DX) または近距離 (LOCAL) の点滅が止まります。

5 秒以内に操作がない場合は、(DX) または (LOCAL) を終了して操作を切り替え、現在の設定をデフォルトに戻すことができます。

14.7.4.[SET] キーを 4 回押すと、[SET]を 4 回押すと、UBD の前の一番目の数字が点滅します。[MODE] を押してローエンド「**bot**」を表示し、[TUNE↑、↓] キーを押し続けてデータを調整し、[STEP]を押してカーソル位置を移動し、次に[TUNE "↑、↓"] キーを押して希望のローエンド「**bot**」周波数範囲を設定します。

[MODE] を短く押すと、ハイエンドの「**bot**」記号が表示されます。[TUNE↑、↓] キーを押し続けてデータを調整し、[STEP]を押してカーソル位置を移動し、[TUNE "↑、↓"]を押して希望のハイエンド「**bot**」周波数範囲を設定します。

[SET]を短く押して設定を確定します。(調整可能な周波数範囲:30MHZ-520MHZ)

15. WX (北米国立気象台):

WX 帯域には 7 つの固定周波数ポイントがあります。

162.400MHZ、162.4250MHZ、162.4500MHZ、162.4750MHZ、162.5000MHZ、162.5250MHZ、162.5500MHZ

WX 状態で、[TUN "↑、↓"] キーを軽く押すか、シャトルを回して希望の周波数ポイントを選択します。

[SET]ボタンを長押しすると ALERT モードに入り、「SCAN」が表示されます。

警報信号を受信すると、警報受信チャンネルが自動的に開始されます。再度[SET]を長押しすると警報受信モードが解除されます。

オレンジ色のバックライトについて:

夜間や暗い場所でも使いやすいように、このラジオには暖かいオレンジ色のライトが特別に装備されています。時計がオフのときに、いずれかのキーを押すと LCD ディスプレイが起動し、バックライトが自動的にオンになります。10 秒以内にバックライトを操作しないとラジオが自動的にオンになり、オフになるとディスプレイがオフになります。ラジオ ON 時、10 秒以内に何も操作しないとバックライトが自動的に消灯します (自動選局時の 10 秒間のバックライト制限の対象外で、10 秒後にバックライトは自動的に消灯します) 自動検索を停止します。

アンテナの使用:

1. FM、SW、VHF、UHF、AIR、UBD ラジオを聴く場合。

本機は FM 放送を受信する 7 分割アンテナを採用しています。放送を聞くときは、アンテナを引き出すか、3.5mm 穴 3.5mm の外部アンテナを挿入する必要があります。

AUX 外部アンテナ (3.5 mm アンテナに挿入、ディスプレイに「EXT ANT」と表示します。

注: 強い電波干渉がある場合、信号の受信が混乱します。アンテナを短くしたり、ATT Local モードを設定したりできます。

2. 中波ラジオを受信する場合。

本機は受信信号に方向性を持つ磁気受信アンテナを内蔵しています。したがって、中波を聴くときは、ラジオ本体を適切に回転させて、最適な受信位置を見つける必要があります。

主な技術パラメータ:

テクニカル指標			
周波数受信範囲	感度	復調方式	バンドの説明
FM1: 64.0-108MHZ FM2: 76.0-108MHZ FM3: 87.5-108MHZ	1uv	WFW	FM Band FM バンド
AM: 520-1710KHZ	1.5mV/M	AM	MW Band FM バンド
SW: 3.2.00-30.00MHZ	10uV	AM/SSB/LSB	SW Band SW バンド
CB: 25.00-28.00MHZ	10dBuV	AM/NFM	CITY Band シティバンド
AIR: 118.00-138.00MHZ	1uv	AM	AIR Band エアバンド
VHF UHF: 30.000-520MHZ	-9dBuV	NFM	広い周波数受信帯域 (VHF、UHF を含む)
VHF 30.00-223.00MHZ	-9dBuV	NFM	広帯域受信 VHF 広帯域受信帯域
VHF 144.00-148.00MHZ	-9dBuV	NFM	アマチュアインカムバンド
VHF 156.025-163.275MHZ	-9dBuV	NFM	国際海運チャンネル
UHF 430.00-520.00MHZ	-9dBuV	NFM	アマチュアトランシーバーバンド
WX: 162.400-162.550MHZ	-9dBuV	NFM	北米気象観測隊 NOAA WX
商品のサイズ	111X60X20MM		
リチウム電池を搭載	BL5C 1020mAh 3.7v 3.8WH		
スピーカー	Φ40MM 8Ω 1W		
ヘッドフォン出力	3.5MM ステレオ入力		
外部アンテナ穴	3.5MM		

注意事項:

- 1) 音が小さくなったり、ひずんだり、ピープ音が鳴ったりする場合は、バッテリーの残量が少ないことを意味しますので、早めにバッテリーを充電してください。
- 2) 強い圧力を加えたり、強い衝突を与えたり、激しい衝撃を与えないでください。
- 3) 直射日光、高温、水気の多い場所に置かないでください。また、-5℃以下、+50℃以上の環境では使用しないでください。
- 4) ケース表面の腐食を防ぐために、化学試薬を使用してケースを拭かないでください。
- 5) 機械を分解したり、内部コンポーネントのパラメータを自分で調整したりしないでください。
- 6) 明らかな人為的損傷(アンテナの折れ、曲がり、脱落、電池の液漏れ腐食)は保証の対象外となります。
- 7) アウターシェル、外部アンテナ、シャーシ、バッテリー、ヘッドセット、充電ケーブルなどの付属品については無償保証は行っておりません。
- 8) 製品のアンテナは 7 分割ロングロッドアンテナ (露出部分は 56CM) で、比較的長いです。 破損の恐れがありますので折り曲げないでください。